

令和2事業年度

決 算 報 告 書

自：2020（令和2）年 4月 1日

至：2021（令和3）年 3月31日

国立大学法人富山大学

令和2事業年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	12,844	13,234	389	(注1)
施設整備費補助金	1,115	602	△ 513	(注2)
補助金等収入	629	2,770	2,141	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	44	44	-	
自己収入	26,637	26,851	213	
授業料、入学科及び検定料収入	5,328	5,018	△ 310	(注4)
附属病院収入	21,127	21,599	471	(注5)
雑 収 入	181	233	52	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,289	2,367	77	(注7)
引当金取崩	24	24	0	
長期借入金収入	1,103	823	△ 280	(注8)
目的積立金取崩	616	82	△ 534	(注9)
計	45,306	46,801	1,494	
支 出				
業務費	38,631	35,942	△ 2,688	
教育研究経費	18,948	16,984	△ 1,964	(注10)
診療経費	19,682	18,958	△ 723	(注11)
施設整備費	2,263	1,469	△ 793	(注12)
補助金等	629	2,496	1,867	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,289	2,088	△ 201	(注14)
長期借入金償還金	1,493	1,299	△ 194	(注15)
計	45,306	43,296	△ 2,010	
収入－支出	-	3,504	3,504	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の追加配分による389百万円の増
- (注2) 事業計画の変更による513百万円の減
- (注3) 予算段階で予定していなかった補助金の獲得等による2,141百万円の増
- (注4) 授業料等減免費交付金を財源とした授業料・入学料免除による252百万円の減、見込みよりも授業料・入学料の免除者が多かったことによる28百万円の減、見込みよりも授業料・検定料収入が少なかったこと等による30百万円の減
- (注5) 手術件数の増、増収対策の取組みによる診療単価の増による471百万円の増
- (注6) 予算段階で見込んでいなかった保険金の入金等による52百万円の増
- (注7) 外部資金の獲得に努め、受入額が増えたことによる77百万円の増
- (注8) 事業計画の変更による280百万円の減
- (注9) 事業計画の変更による534百万円の減
- (注10) (注9)に示した理由による534百万円の減、業務達成基準の適用事業の繰越で執行額が減ったことによる519百万円の減、新型コロナウイルス感染症拡大により旅費及び留学生にかかる経費の減少による272百万円の減、経費節減により光熱水費や消耗品・備品等の執行額が減ったことによる639百万円の減
- (注11) 補助金での業務費の支出増加に伴う診療経費の723百万円の減
- (注12) 事業の計画変更により執行額が減ったことによる793百万円の減
- (注13) (注3)に示した理由による2,141百万円の増、授業料等減免費交付金を財源とした奨学費を教育研究経費に計上したことによる252百万円の減、事業計画の変更により執行額が減ったことによる22百万円の減
- (注14) 翌年度への繰越の発生による201百万円の減
- (注15) 償還猶予及び金利見直しによる194百万円の減

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示している。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息66百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示している。